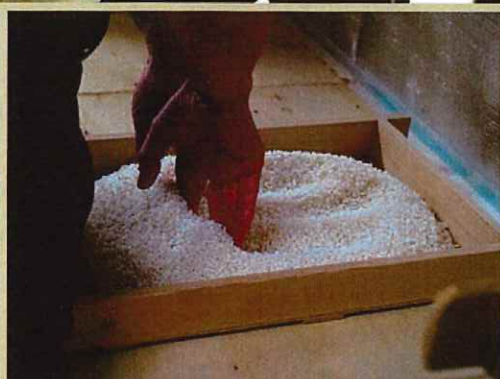


月刊 文化財

7/ 令和7年

文化庁監修

令和七年七月一日発行(毎月一回)発行(第七四二号)



◆「伝統的酒造り」 ユネスコ無形文化遺産登録

登録有形文化財（建造物）一覽

文化庁文化財第二課

登録のおもな事例（第二〇回）

第一〇〇回（令和七年三月二十一日答申）登録有形文化財（建造物）



千葉県立美術館展示棟／千葉市

千葉港の臨港公園に位置する美術館。段差のない展示室群をグリッド状に配して拡張可能とし、傾斜屋根と外壁の炷器質タイル仕上で一体にまとめる。中央の展示室は吹抜とし傾斜屋根を軽快にみせる。大高正人による美術館の秀作。

| 名称 | 所在地 | 建設年代 | 特徴等 | 種別 |
|---|----------------------------|--|---|------------------|
| JR田沢湖線小岩井駅本屋 日本聖公会土浦聖バルナバ教会礼拝堂 江原本家上毛倉庫一、二、三号煉瓦棟 七号棟 | 岩手県滝沢市 茨城県土浦市 群馬県前橋市 | 大正10年／昭和後期・令和5年改修 昭和5年／平成13年改修 昭和24年／平成2年改修 明治29年／昭和22年頃・平成2年・平成21年改修 明治29年／昭和22年頃・平成元年・同30年改修 昭和25年／平成元年改修 | 小岩井農場の南方に位置し、農場の玄関口となった駅舎。官営鉄道の標準設計平面とはほぼ一致する小規模な駅舎で、橋場軽便線開業当時の賑わいを今に伝える。現在は市が所有し、交流施設としても活用。 土浦城跡の西に位置する教会の礼拝堂。鉄筋コンクリート造の壁式構造で、四角平面に八角屋根を載せた鐘楼を外観のアクセントとする礼拝堂。 JR前橋駅の北口正面に位置する営業倉庫群。一、二、三号煉瓦棟、七号棟が位置する。敷地南東に建つ一、二、三号煉瓦棟は鉄筋コンクリート造でモルタル塗の土蔵風外観が歴史的な景観をつくる。二、三号煉瓦棟は敷地東辺に西面して建つ、かつて醸や生糸を保管した営業倉庫。明治期の前橋の繁栄を示す貴重な煉瓦造倉庫。三号煉瓦棟は敷地北側に南面して建ち、外壁にアーチ窓を並べた長大な外観。敷地内最古の貴重な煉瓦造倉庫。七号棟は敷地中央に建つ米穀類用の営業倉庫。鉄筋コンクリート造で内部は一室の土間とし、上部に木造のキングポスト・トラスを現す、敷地内最大規模の倉庫。 | 交通 宗教 産業三次 |
| 旧相川家住宅旧店舗 土蔵 稲荷社 表門及び塀 裏門及び塀 | 群馬県伊勢崎市 | 江戸後期／昭和中期改修 天保8年（一八三七）／昭和33年頃、平成12年改修 天保15年（一八四四） 明治15年 明治33年 昭和前期 | 西町の通り西側に位置する旧金物商の屋敷。現在は重文遺構を所蔵する相川考古館として公開活用。旧店舗は土蔵造り二階建てで建ちの低い外観が敷地北東の歴史的な景観を形成する。店舗の西に接続する主屋は入母屋造りの式台と内玄関を構え、床構えの造作など、丁寧な書院座敷。主屋北面西端に接続する旧金物蔵の土蔵は、各階一室の板敷で小屋は登梁を水平の繫梁で繋ぐ。長大な外観で敷地北方の景観を特徴づける。稲荷社は敷地北西隅に東面して建つ屋敷神。土蔵造りで重厚な外観とした珍しい小社。敷地東面を画す表門は薬医門で大棟は七宝繋の透積とする。南に続く板塀は重厚な表門とともに屋敷構えをつくる。敷地南の小路に面し、西側を画す裏門は障木門で、両側の板塀は堅板を目線に張る。東西に延びる板塀とともに小路側の屋敷構えを整える。 | 住宅 |